■成長段階・経営改善等の支援

東京ビジネスサミットへの参加

ひぜしんは、地域社会に奉仕する金融機関として、大衆のよりよき相談相手となり経営規模の拡大を図り、地域経済の発展に寄与することを基本方針に掲げ、中小企業の健全な発展と地域社会繁栄のため地域金融機関としてお客様とともに成長・発展を目指すことを位置付けております。

中でも中小企業支援の柱として考えているものが、「東京ビジネスサミット」への継続的参加です。平成17年より開始して現在まで既に9回を数え、回を重ねる毎に参加者も増えております。

なお、東京ビジネスサミットには、継続的な参加が特に優れた取組みとして認められ、平成24年2月に福岡財務支局より顕彰を受けました。

「東京ビジネスサミット 2013」大賞、特別賞を受賞。

平成25年9月に開催された第26回東京ビジネスサミットにおいて、ひぜしんからの紹介で出展された門田建設様（長崎県佐世保市）が大賞を、さいかい堂様（同）が特別賞をそれぞれ受賞されました。

大賞を受賞した門田建設様は「超軽量・移動型太陽光発電システム」を開発。持ち運びが可能であり、注目を集めました。特別賞受賞のさいかい堂様は「世知原茶 露プリン」を出展。全国レベルの味が証明されました。

ひぜしん経営セミナーの開催

ひぜしん経営セミナーは、中小企業経営者の経営サポーターとして発足し、年2回の経営セミナーを佐賀地区・佐世保地区・大村地区の3ブロックで開催し、企業が必要とする最新経営情報を提供しております。

ホテル・旅館業、福祉介護施設業様向けセミナーを開催。

ひぜしん経営者セミナーの開催
日　時：平成25年7月24日
講　演：高橋 良一 氏（ホテル・旅館専門コンサルタント）
　　　　～これまでのやり方では立ちいかない～
パネルディスカッション
　　谷口 行利 氏（株式会社オリナス 代取社長）
　　高橋 良一 氏（経営コンサルタント）
　　田口　満 氏（ホテル蘭風 社長）
　　福地 康人 氏（ホテル蘭風 統括部長）
　　大久保 卓 氏（ティーコープ㈱九州事業所所長）

店舗一覧

本　　部	〒843-0024	佐賀県武雄市武雄町大字富岡8894番地	☎0954-23-1281
本店営業部	〒843-0024	佐賀県武雄市武雄町大字富岡8894番地	☎0954-23-1181
大町支店	〒849-2102	佐賀県杵島郡大町町大字福母381番地1	☎0952-82-3181
白石支店	〒849-1112	佐賀県杵島郡白石町大字福田1535番地1	☎0952-84-4181
嬉野支店	〒843-0301	佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿乙553番地2	☎0954-42-0181
鹿島支店	〒849-1311	佐賀県鹿島市大字高津原4034番地3	☎0954-62-7181
宮野町支店	〒843-0022	佐賀県武雄市武雄町大字武雄7319番地	☎0954-23-2181
北方支店	〒849-2204	佐賀県武雄市北方町大字大崎1095番地3	☎0954-36-5181
山内支店	〒849-2303	佐賀県武雄市山内町大字三間坂甲13821番地1	☎0954-45-6181
佐世保営業部	〒857-0043	長崎県佐世保市天満町1番15号	☎0956-22-5181
本島支店	〒857-0871	長崎県佐世保市本島町1番6号	☎0956-24-5181
大宮支店	〒857-0841	長崎県佐世保市大宮町8番19号	☎0956-31-6126
俵町支店	〒857-0016	長崎県佐世保市俵町9番12号	☎0956-23-1101
大野支店	〒857-0136	長崎県佐世保市田原町10番12号	☎0956-49-3341
相浦支店	〒858-0918	長崎県佐世保市相浦町1615番地2	☎0956-47-3105
早岐支店	〒859-3215	長崎県佐世保市早岐2丁目3番17号	☎0956-38-3148
大村支店	〒856-0826	長崎県大村市東三城町5番地	☎0957-52-2141
竹松支店	〒856-0805	長崎県大村市竹松本町956番地1	☎0957-55-7144
諫早支店	〒854-0072	長崎県諫早市永昌町18番1号	☎0957-26-3556
西大村支店	〒856-0024	長崎県大村市諏訪1丁目604番地1	☎0957-52-4100

街に笑顔の花咲かせましょう
九州ひぜしん信用金庫

ひぜしん経営レポート

2013・9・30

街に笑顔の花咲かせましょう
九州ひぜしん信用金庫

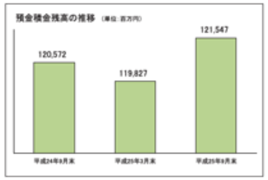
■主要勘定(預金・貸出金)の状況

預金科目別残高

金利上乗せ商品「スマイルアップ定期預金」を中心に個人向け定期預金残高が増加して、期末残高は前年同期比9億円増の1,215億円となりました。

(単位：百万円)

	平成24年9月期	平成25年3月期	平成25年9月期
流動性預金	35,222	36,190	35,446
当座預金	2,198	3,399	2,261
普通預金	32,265	31,436	32,129
貯蓄預金	229	217	190
通知預金	26	73	24
定期性預金	85,349	83,637	86,101
定期預金	80,003	78,554	81,201
定期積金	5,346	5,082	4,899
合計	120,572	119,827	121,547

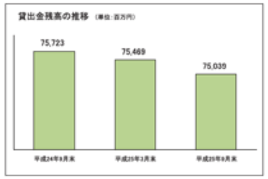


貸出金科目別残高

貸出金は、個人消費資金が増加したものの、事業性資金・地公体向け貸出が減少して、期末残高は前年同期比6億円減の750億円となりました。

(単位：百万円)

	平成24年9月期	平成25年3月期	平成25年9月期
割引手形	537	623	524
手形貸付	5,303	4,875	4,449
証書貸付	67,181	67,090	67,018
当座貸越	2,700	2,880	3,047
合計	75,723	75,469	75,039



貸出金業種別残高

(単位：百万円)

	平成24年9月期	平成25年3月期	平成25年9月期
製造業	3,109	3,034	3,055
農業、林業	146	160	211
漁業	127	109	134
鉱業、採石業、砂利採取業	86	86	78
建設業	4,678	4,982	5,078
電気・ガス・熱供給・水道業	27	20	35
情報通信業	60	57	53
運輸業、郵便業	568	554	533
卸売・小売業	7,239	7,005	6,680
金融業、保険業	222	219	234
不動産業	14,286	14,401	14,438
物品賃貸業	594	551	510
学術研究、専門・技術サービス業	34	40	40
宿泊業	4,239	4,014	3,991
飲食業	2,308	2,358	2,395
生活関連サービス業、娯楽業	2,146	2,253	2,223
教育、学習支援業	310	312	293
医療、福祉	3,991	4,260	3,827
その他のサービス	3,904	3,238	3,238
小計	48,083	47,662	47,055
地方公共団体	7,040	7,181	6,777
個人	20,599	20,625	21,206
合計	75,723	75,469	75,039

■業績ハイライト

損益の状況

(単位：千円)

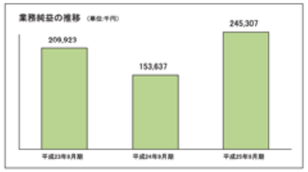
	平成24年9月期	平成25年9月期
経常収益	1,287,911	1,378,183
業務収益	1,273,201	1,377,119
資金運用収益	1,162,589	1,213,013
臨時収益	14,710	1,063
経常費用	1,136,743	1,192,055
業務費用	1,119,563	1,131,812
資金調達費用	58,123	57,048
経費	939,746	894,271
一般貸倒引当金	-	20,529
臨時費用	17,179	60,242
個別貸倒引当金繰入	-	54,177
経常利益	151,168	186,127
業務純益	153,637	245,307
業務粗利益	1,093,383	1,160,107
コア業務純益	132,363	230,512
特別損益	29,787	△ 1,323
当期純利益	176,547	171,723

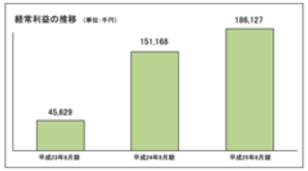
中間期純利益は171百万円を計上しました。

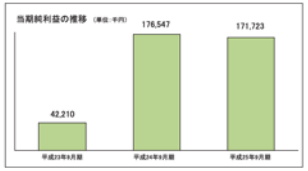
業務純益・経常利益は、有価証券損益が増加したことなどから増収となりました。

当期純利益は、税費用が増加したことなどから、前年同期比4百万円の減益となりました。

なお、金融機関の本来的な収益力を示すコア業務純益は前年同期比98百万円増の230百万円となりました。







自己資本比率の状況(国内基準)

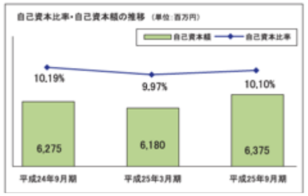
(単位：百万円)

	平成24年9月期	平成25年3月期	平成25年9月期
基本的項目の額	5,729	5,681	5,855
自己資本の額	6,275	6,180	6,375
リスク・アセット等計	61,581	61,950	63,078
基本的項目(Tier1)比率	9.30%	9.17%	9.28%
単体自己資本比率	10.19%	9.97%	10.10%
総所要自己資本額	2,463	2,478	2,523

「単体自己資本比率」10.10%程度
ひぜしんは健全経営を続けております。

自己資本比率は、リスクの可能性のある資産に対して自己資本がどれだけあるかを示す指標で、金融機関経営の健全性・安全性を示す指標です。

平成25年9月期の単体自己資本比率は、前年同期比0.09ポイント低下し、10.10%程度となりましたが、自己資本額は増加しており、国内基準である4%を大きく上回っております。この水準は、ひぜしんの経営が健全かつ安全であることを示しております。



■資産運用の状況

不良債権の状況(金融再生法)

(単位：百万円)

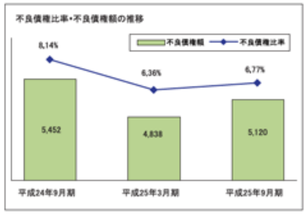
開示債権区分	平成24年9月期	平成25年3月期	平成25年9月期	担保・引当金等による保全額	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,384	3,382	3,566	3,566	100.00%
危険債権	1,869	1,349	1,171	958	81.87%
要管理債権	198	106	382	218	57.07%
不良債権計	5,452	4,838	5,120	4,743	92.64%
正常債権	70,915	71,196	70,410		
合計	76,368	76,035	75,530		
不良債権比率	7.14%	6.36%	6.77%		

「不良債権比率」6.77%「保全率」92.64%
不良債権に十分な対応をはかっております。

ひぜしんでは、金融検査マニュアルに準拠した自己査定基準に沿って、適性かつ厳格な自己査定を行なっております。

平成25年9月期の不良債権額は、依然として厳しい景気低迷の影響から、前年同期比282百万円増加しましたが、担保・貸倒引当金により、不良債権の92.64%を保全しており、内部留保とあわせて十分な対応をはかっております。

金融再生法ベースでの不良債権比率は6.77%となっております。

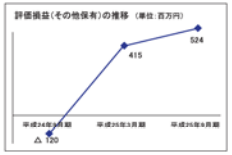


有価証券の時価開示

(単位：百万円)

その他保有目的で時価のあるもの	平成24年9月期				平成25年3月期				平成25年9月期			
	貸借対照表計上額	評価差額			貸借対照表計上額	評価差額			貸借対照表計上額	評価差額		
			うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損
株　式	186	△ 43	9	53	87	5	6	1	97	12	13	1
債　券	14,098	300	356	56	12,968	446	462	15	17,836	433	446	13
その他	1,974	△ 377	11	388	2,217	△ 36	46	83	2,292	78	119	41
合　計	16,259	△ 120	378	498	15,273	415	515	100	20,226	524	579	55

満期保有目的で時価のあるもの	平成24年9月期				平成25年3月期				平成25年9月期			
	貸借対照表計上額	評価差額			貸借対照表計上額	評価差額			貸借対照表計上額	評価差額		
			うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損
株　式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
債　券	4,057	70	71	1	6,095	104	104	0	-	-	-	-
その他	770	△ 77	5	83	770	61	94	33	-	-	-	-
合　計	4,827	△ 7	77	85	6,865	165	198	33	-	-	-	-

時価を把握することが極めて困難なもの	平成24年9月期 貸借対照表計上額	平成25年3月期 貸借対照表計上額	平成25年9月期 貸借対照表計上額
株　式	28	26	26
その他	35	28	24
合　計	64	55	51

当経営レポートは、仮決算に基づき、当金庫任意の情報として開示するものであり、平成24年9月期および平成25年9月期の計数につきましては、監査法人の監査を受けておりませんので、ご承知下さい。